

中津ロータリークラブ週報

2022-2023年度 中津RC会長テーマ

ENJOY ROTARY ロータリーを楽しもう！


IMAGINE
ROTARY

イマジン ロータリー

ジェニファー・ジョーンズ 2022-2023 RI会長テーマ

第3305回 2022年10月5日 点鐘:12:30

本日の出席者	会 員 数	47名	欠 席 者	事前：仲会員、安藤会員（東龍IAC）、瀧会員（横浜港北）
	出席対象者数	47名		林会員、柿内会員、黒田会員、三重野会員、峯中会員、大東会員、大家会員、
	出 席 数	37名		恒廣会員、山本昌豊会員、山本洋一郎会員
	出 席 率	78.72%	(10名)	
3302回の修正	出 席 率	89.36%	メークアップ	富部会員（東龍IAC）、瀧会員（DL研修）、峯中会員（Eクラブ）
	メークアップ	3名		
	修 正 率	93.62%	欠席者	柿内会員、三重野会員、大東会員
来 訪 者	本徳照光氏（中津の歴史と文化を学ぶ会）			今週の歌 君が代 奉仕の理想

●会長の時間〔細川会長〕

めっきり涼しくなり、秋らしくなりました。本年度も4か月目に入ります。最近は人事案件の相談が多くなっています。本日は理事指名委員会の紹介があります。選任された方はどうぞよろしくお願いいたします。

いろんなものの物価が上昇していますが、お米は全く値段が上がっていません。昨年は大きく値下がりし、今年もその水準を維持している状況です。肥料などの価格は上昇しているので、農家の方は大変だと思います。令和3年度産のお米はまだ大量に余っているそうです。昨日、栃木の知人から5tほど米を取り扱って欲しいと連絡がありました。当社は弁当でお米をたくさん使うので、しっかりしたお米なら検討したいと思います。当社では中津のお米も取り扱っていて、三光のお米を年間20t宇佐屋さんに買い付けていただき、前田米穀店で精米して販売しています。たいへんおいしいお米ですが安いのです。三光のヒノヒカリです。是非ご購入ください。

本日の大分合同新聞に広瀬知事の次回知事選不出馬の記事が出ていました。5期20年、大分県のために尽くされました。前知事の時代までは大分県と言えば「一村一品」で農業中心でしたが、今では大分県は工業県で、工業製品出荷高は福岡県に次いで九州第2位です。大分県の半分の額が3位の熊本県・鹿児島県・長崎県で、さらにその半分が宮崎県・佐賀県です。工業製品の取扱額が多くなると一人当たりの収入が増加します。

10月16日にポリオ根絶寺町チャリティーコンサートを行います。是非ご参加をお願いします。本日は本徳照光氏のゲスト卓話「蘭学の里中津」です。どうぞ最後までよろしくお願いします。

●幹事報告〔原岡幹事〕

- ・例会変更 大分7クラブ
- ・週報回覧 杵築
- ・その他回覧 10/26山形南RC交流例会出欠表、ガバナ月信、月刊もみじ、会議所ニュース
- ・例会後、理事会を行います。

●委員会報告

・理事指名委員会〔細川会長〕

メンバーは会長経験者から松永会員、瀧会員、末永会員、2年目理事より末廣会員、そして私の5名で、理事指名委員長は松永会員です。

〔松永委員長〕

次年度(2023-24)理事3名、次々年度(2024-25)会長、次年度幹事、次年度会計を募ります。立候補者は10月15日までに理事指名委員長まで届け出てください。立候補者がいない場合は理事指名委員会が候補者を推薦し、11月9日の例会で発表し、12月第1例会の年次総会で投票を行います。

・誕生祝い〔親睦委員会・高津会員〕

1967.10.7原岡知徳会員、1964.10.7時松聖潤会員、1946.10.18村上玄児会員、1976.10.20松本逸文会員

・「ロータリーの友」の紹介〔門松会員〕

8p/特別インタビュー、49p/すごいロータリー男がいたもんだ、65p/デジタル時代の企業改革が会社と地域を変える。

・ロータリー財団委員会〔丹羽会員〕

10/16ポリオ根絶寺町チャリティーコンサートのご案内。

・国際社会奉仕委員会〔松本委員長〕

10/16のチャリティーコンサートに参加できない方は募金箱をまわしますので、ご協力お願いします。

●ニコニコボックス

〔里見会員〕11/11ウクライナの歌姫：ナターシャ・グジーコンサートのご案内

〔松本会員〕誕生祝いのお礼。

〔時松会員〕誕生祝いのお礼。

〔村上会員〕誕生祝いのお礼。

〔原岡会員〕誕生祝いのお礼。

●ゲスト卓話

「蘭学の里中津」

中津の歴史と文化を学ぶ会

会長 本徳昭光氏



蘭学の泉ここに湧く

中津藩は江戸中期から明治にかけて多くの蘭学者を輩出した。

1. 3代藩主 奥平昌鹿（1744～1780）は、前野良沢を庇護して「解体新書」を著す。
2. 5代藩主 奥平昌高（1781～1855）は、神谷弘孝（源内）に蘭語訳撰（和蘭辞書）。大江春嶺に、中津バスタード辞書（蘭和辞書）を出版させた。
3. 村上玄水（1781～1843）は、1819 九州でも最も早い人体解剖
4. 田代基徳（1839～1898）は、「切断要法」出版。日本の外科学の基礎を築いた。
5. 福澤諭吉もこのような土壌から誕生した。



奥平昌鹿（自性寺）

3代目 昌鹿候は——前野良沢へ明和7（1770）

汝が蘭学を修めんと欲するは、余の大に喜とする所なり。然れども、公務の余暇に学びて、外国の語に通ぜんとするは「二兎を遂ふは、一兎を獲ず」と言ふに何ぞ異ならんや。

されば、今より専ら蘭学を研磨し、汝が宿志を貫徹せんことの覚悟あらんことを望むなり。

汝にして比の意あらば、余は充分の便利を与え、汝の目的を大成せしめんと欲す。



大江医家資料館展示

「解体新書」

「解体新書」翻訳開始

1771（明和8）

3月5日（約2年間）

「解体約図」出版～1773

「解体新書」出版～1774（安永3）8月

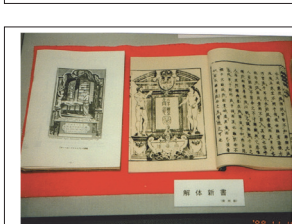
「重訂解体新書」

杉田玄白と前野良沢の弟子である大槻玄沢（1757～1827）が翻訳

改訂～13冊に翻訳

完成～寛政10（1798）

刊行～28年後



「解体新書」 1771（明和8）

小塚原で解剖を見学し「ターヘル・アナトミア」の翻訳を江戸の中津藩中屋敷内で開始。

藩主、奥平昌高は「中津辞書」発行を命ず

左 「バスタード辞書」1822発行

オランダ語 → 日本語辞書

（大江春嶺に命ず）



右 「蘭語訳撰」1810刊行

日本語 → オランダ語辞書

（神谷弘孝（源内）に命ず）

昌高は島津重豪の次男。シーボルトと交流、蘭学大名、蘭名はフレデリック・ヘン德里ック。



「慶応義塾発祥の地」（記念碑）

安政5（1858）江戸の中津藩中屋敷に蘭学塾を開く。

慶応4（1868）蘭学塾を慶応義塾と改称



「蘭学創始の碑」

1. 前野良沢が住んでいた江戸中津藩中屋敷（東京築地）ここで「ターヘル・アナトミア」の翻訳。「解体新書」発行

2. 中津の蘭学は前野良沢に始まり、福澤諭吉頃を最後として終わるが、その間、多くの蘭学者、蘭方医を生み出した。

第9回理事会議題

- ・ 前回事務録の承認 ・ 9月会計報告
- ・ 10月（修正） ・ 11月例会プログラム
- ・ 10月16日ポリオコンサート
- ・ 10月26日山形南RC交流例会（18：30～）

●例会のご案内

10月19日(水) ゲスト卓話

「三津同盟と中津蘭学・洋学」

中津市歴史博物館 学芸員 曾我俊裕氏

10月26日(水) 山形南ロータリークラブ
交流例会(18:30～)



中津ロータリークラブ週報

国際ロータリー
第2720地区

事務局／〒871-0055 大分県中津市殿町1383-1 中津商工会館2F

TEL 0979-22-6908 FAX 0979-22-6909

E-mail nakatsu.r.c@feel.ocn.ne.jp URL <https://www.nakatsu-rc.com>

例 会／毎週水曜日 12:30～13:30 ヴィラルーチェ中津 TEL 0979-23-1122

●2022-2023年度

会長／細川 唯 幹事／原岡知徳 IT支援・RI情報・公共イメージ委員長／永岡侍紀史